

東京ミッドタウン 「和紙キャンドルガーデン～TOHOKU 2012～」 学生が足で集めた、「被災地 37 市町村」 1480 人の生の声

平成 24 年 10 月 19 日（金）～10 月 21 日（日）

多摩大学村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」は、平成 24 年 10 月 19 日（金）、20 日（土）、21 日（日）にて開催される東京ミッドタウン（事業者代表三井不動産株式会社）『和紙キャンドルガーデン ～TOHOKU 2012～』の企画・運営に携わります。

私たちは、昨年東京ミッドタウンで「和紙キャンドルガーデン～東北の力・世界の力」を実施し、6,000 名を超えるお客様に被災地の声をお届けしました。その後も被災地を歩き続けましたが、被災者の方々が「震災のことを忘れないでほしい」と今も強く思われていることを知り、今年も現地の声を届けることの必要性を強く感じました。その想いは、訪問地を広げるほど強くなり、今春には実現への決意に変わっていました。

被災地の訪問はゼミ生全員 47 名へと増え、地域も日増しに増えていきました。その中で、被災地にはそれぞれの想いがあり、「被災地」という一言ではまとめられない、まとめてはいけないことに気づかされました。一般に報道されているのは極一部の地域であることに疑問を抱き、

私たちの歩みは拡大し続け、**被災地 37 市町村**に達しました。各市町村の被災者とお話しし、何度も何度も涙しました。この経験を絶対に無駄にできない。そう思った時、私たちは、37 市町村すべてのメッセージを手漉き和紙キャンドルで表現することを決めました。

1 枚 1 枚心を込めて和紙を漉き、メッセージを書いていただきました。その数 **1, 480**。私たちは、37 の市町村を訪れ、和紙メッセージをいだけなかった方を含め、約 1700 の物語をきいてきました。何度涙を流し、何度励まされ、何度感動したでしょうか？その一つ一つの貴重な体験を伝える。そう強く心に誓いました。

『和紙キャンドルガーデン ～TOHOKU 2012～』では、被災者の生の声をのせた手漉き和紙キャンドルを、絆を表す日本伝統紋様七宝の形に配置します。そのメッセージを感じていただくと同時に、私たち学生と話していただきたいと思います。会場に立つ私ども学生は、全員が被災地を訪問し、それぞれの物語を持ち帰ってきました。それは、被災者の熱い物語です。

37 市町村約 1,700 人の物語です。それを会場で感じていただきます。

途中感情をこらえきれないことがあるかもしれませんが、しかし、それも含めて、被災者の現状を知らせたい。そのような想いで創り上げられたイベントになります。



昨年の和紙キャンドル

【イベント概要】

タイトル : 『和紙キャンドルガーデン ～TOHOKU 2012～』

期間 : 平成 24 年 10 月 19 日（金）・20 日（土）・21 日（日） ※入場無料

*プレスデイ平成 24 年 10 月 18 日（木）

（キャンドル設置開始 14 時、点灯開始 16 時、完全点灯 17 時、点灯終了 20 時）

時間 : 17 時～21 時 ※雨天中止

会場 : 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン芝生広場
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-1

アクセス : 都営大江戸線・東京メトロ日比谷線「六本木駅」8 番出口より直結
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3 番出口より徒歩約 3 分
東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1 番出口より徒歩約 10 分

【関係団体】

主催 : 東京ミッドタウン

企画・運営 : 多摩大学 村山貞幸ゼミ「日本大好きプロジェクト」

【イベントに関するお問い合わせ先】

[広報担当]

古賀 TEL: 090-5198-0764
Mail: npj.koga0619@gmail.com

[イベント担当]

藤岡 TEL: 080-4190-3587
Mail: npj.fujioka@gmail.com



【演出コンセプト】

「和紙キャンドルガーデン ～TOHOKU 2012～」では、被災者の現状を、手漉き和紙キャンドルにのせた被災者のメッセージ、リーフレット、そして私たち学生とのコミュニケーションによって感じていただきます。

【エリアイメージ】



【演出詳細】

<～TOHOKU 2012～>

イベントのメインエリア（芝生広場）です。和紙キャンドルは「絆」「繋がり」を意味する「七宝」の形に並べます。多摩大学村山貞幸ゼミ日本大好きプロジェクトの学生が東北37市町村に足を運びメッセージをかいていただいた1,480枚の和紙で、**和紙キャンドル**を創ります。

私たちは、被災地37市町村に足を運び、多くの被災者の方々からお話を伺いました。

そして、そこには「被災地」という言葉でくくることはできない、37市町村、

1,480人の物語があることに気づきました。しかし、同時に被災者の皆様が直接的、間接的に強い絆で結ばれていることを強く印象づけられました。その「絆」は、和紙キャンドルを「七宝」の形に配置することで表現されます。日本の伝統紋様である「七宝」は、「絆」「繋がり」を意味するデザインです。紙包みや食器など日常的に目にする紋様ですので、それに触れるたびに、震災のこと、被災者の強い絆のことを思い出していただきたいと強く願っています。

<リーフレット>

被災地では、「メッセージなどかけない!」「かけるわけがない!」と怒りを露わにされた方々も多数いらっしゃいました。そのお話を合わせると、物語は約1,700にもなります。和紙メッセージをいただけなかった方々のお話は、私たちが作成したリーフレットに記載してあります。

また、当日会場で私たちが直接お話をさせていただきたいと思います。

<和紙キャンドルロード>

外苑東通りからミッドタウン・ガーデンの道に約1500個の和紙キャンドルを配置します。メインの芝生広場へつながる、誘導の灯です。

キャンドル和紙は、芝生広場の和紙も含め私たちが一枚一枚心を込めて漉いております。

『日本大好きプロジェクト』とは

平成20年9月より日本の伝統文化を伝承してゆく活動を始め、平成24年9月28日現在、幼稚園・保育園・児童館・その他高齢者施設などで829回（年200回以上）の訪問型イベントを実施させていただきました。

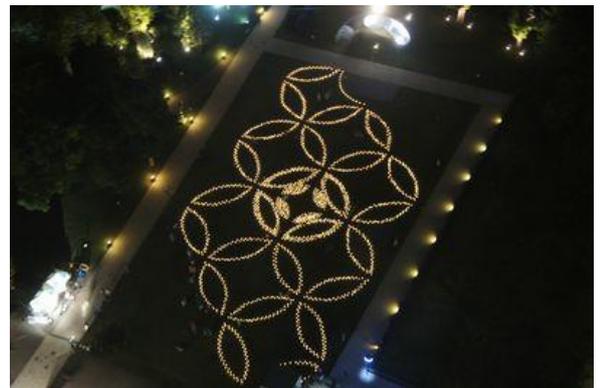
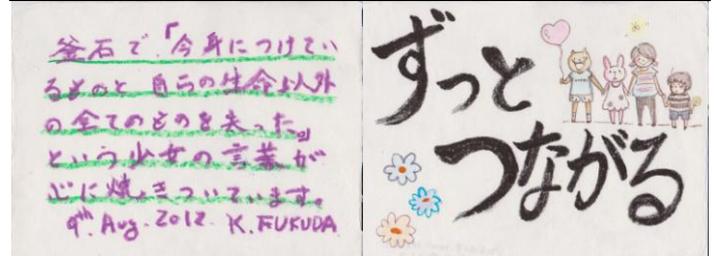
日本の伝統文化に数多く触れていただくことで、多くの人々に日本を深く理解し、心から「大好き」になっていただくことを目指しています。

主なイベント内容：工芸（紙漉き、藍染め）、演劇・音楽（三曲、手影絵、狂言、紙芝居）、武道（空手、剣道）、茶道、書道、将棋、ちぎり絵、水墨画、折り紙、投扇興、俳句かるた、竹鉄砲、南京玉すだれ、扇子作り・・・

イベント実績：東京ミッドタウン（2010, 2011）、二子玉川ライズ（2011, 2012）、増上寺（2010, 2011, 2012）、神明宮（2010）・・・

多摩大学 村山貞幸ゼミ 日本大好きプロジェクト

<http://www.nippon-daisuki.jp>



イメージ写真①



イメージ写真② *写真①、②は昨年のイベントです。

